

港七福神巡り ウォーキングへの誘い

出発地点：東京メトロ六本木一丁目駅
出入口1

出発日時：平成31年4月14日12時

昼食はすませておいてください
予備日（4月20日、21日）

工 程：約4時間

到着地点：東京メトロ外苑前駅
（自由解散）

- ・ 参加希望者は各地区常任幹事まで
- ・ 当日の実施可否は9時までに田辺から各地区常任幹事に連絡しておきますのでお問い合わせください



本件連絡先：東京地区幹事 田辺

久国神社（布袋尊）



六本木の由来

東京都港区北部の地区。

地名の由来は、昔、六本の老松があったことによる。

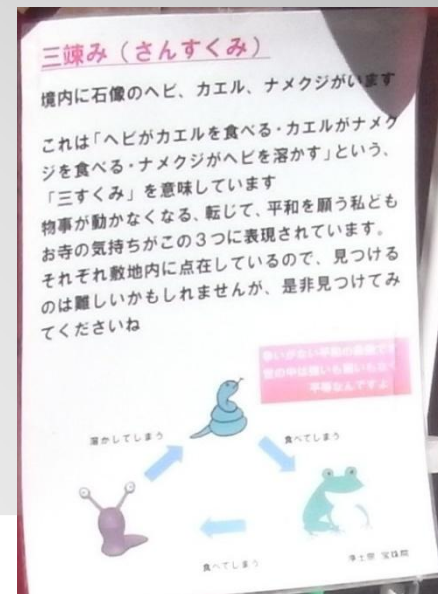
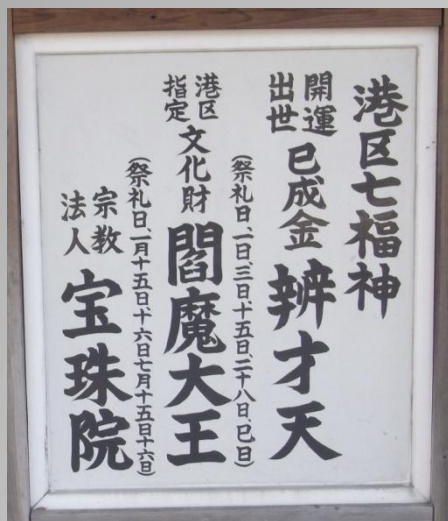
また江戸時代は大名屋敷が多かったところから、木に関係した苗字（上杉，高木，青木，片桐，一柳，朽木〈くつき〉）の六大名の屋敷があったことによるともいわれる。

出典：コトバンク

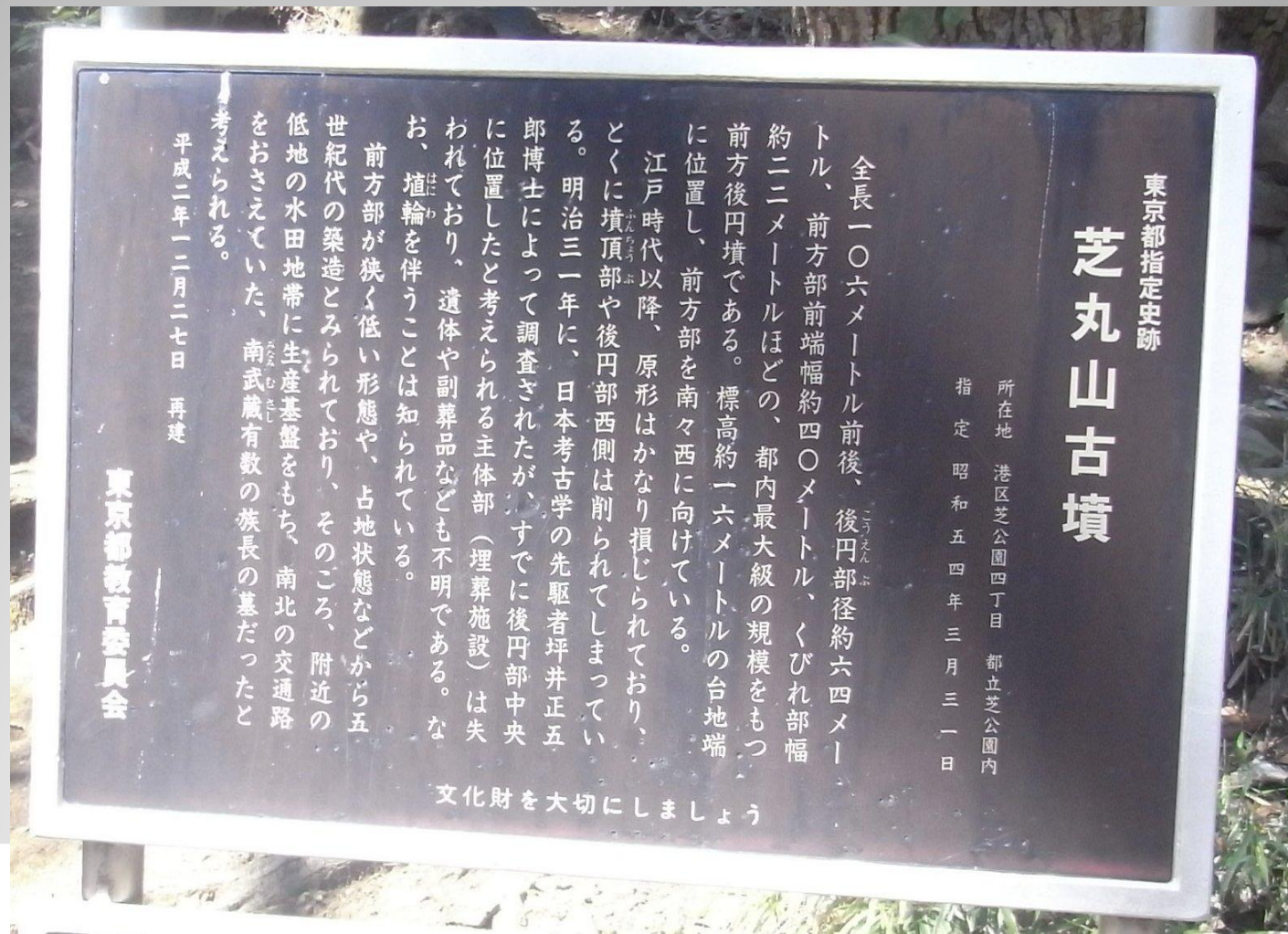
熊野神社（恵比寿）



弁財天 (宝珠院)



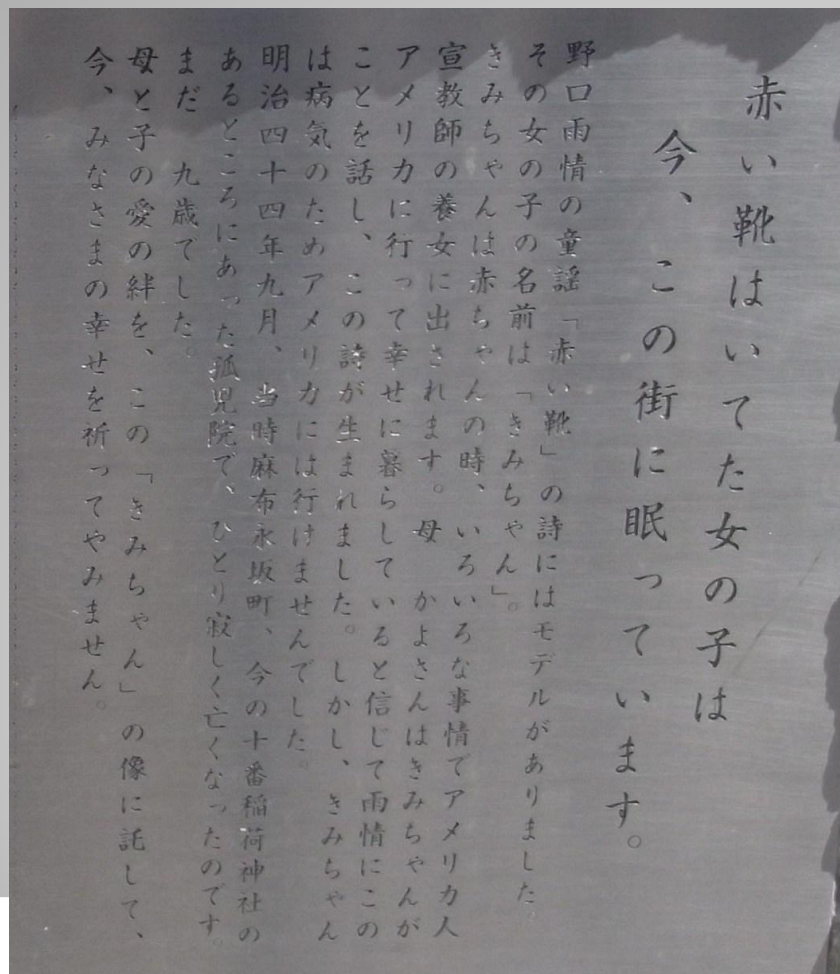
番外編（芝丸山古墳）



宝船（十番稻荷神社）



番外編（きみちゃん像）



大黒天（大法寺）



番外編（麻布 一本松）

麻布七不思議の一つである一本松。もちろん今たっている松はオリジナルではありません。現在の松は植え継がれて三代目？、冠の松とも秋月邸の羽衣の松とも呼ばれていたといいます。この松に甘酒を竹筒に入れて取めると咳が治るという俗信もありました。他にもいくつかの説がありますのでご紹介します。

ここは、もともと古墳であったそうです。そして江戸初期には「首吊塚」とも呼ばれていました。関が原の合戦で送られてきた首級を家康が検分し、埋めた所だそうです。



また、異なる伝説では、平将門を討伐にきた源経基が、将門の屋敷内を内偵しての帰り道、一軒の民家に泊まって料理をふるまわれた。経基は翌朝、装束をあらためて出立しましたが、そのとき脱いだ衣服をかけたのがこの一本松だといいます。

このあたりは、田中康夫の『なんとなくクリスタル』で、主人公由利の散歩コースとなっているところなのです。「散歩をするなら、有栖川宮記念公園から元麻布の西町インターナショナル・スクールを通過、オーストリア大使館の横は暗闇坂を下り、麻布十番へ出るとか、白金の自然教育園を歩くのもいい。」由利と同じように、歩いてみませんか。←松の根本に由来の書かれた石碑があります。この碑によると古樹は明治九辰年焼失と書かれていますが？明和九辰年(1772)の間違いではないでしょうか。明治9年は子年です。植え継がれた松も昭和20年4月の空襲により焼失したと書かれています。現代の松は 三代目とも五代目とも言われています。



毘沙門天（氷川神社）



番外編（東端跡地）



壽老神（櫻田神社）



福祿寿（天祖神社）



番外編（青山霊園）



番外編（懐かしの東京無線通信部）



港七福神巡り

本来七福神めぐりは、年を明け新たな年を迎えるときに行うものですが七福神めぐりは、初詣ばかりでなく通年受け入れている所も多くあります。ご利益と健康をお祈りして、港区の旅を楽しんでください。



終わりに

- 途中でのリタイヤ、途中からの参加は自由です。
- 持参：飲み物、敷物、雨具（その日の状況により）、帽子、タオル、着替、保険証、常備薬、その他